

# 先進予防型遠隔医療を地域に根付かせるための課題

予防促進のための  
社会技術の開発

高齢者を含めて持続的な社会参加を可能とするまちづくり  
多数の住民、無関心層の行動変容、それらの継続のための  
地域ウェルネスステーションのあり方(医院-薬局連携モデルなど)、インセンティブ策の構築、観光e-wellnessの開発

ビジネスモデルが成立する  
健康クラウドの開発

基本概念は科学的根拠に基づくサービスコンテンツと  
ソーシャルキャピタル  
ガイダンスに基づく健康クラウドの開発と地域健康  
サービスモデルの確立

サステナブルな予防事業  
が成立するための  
SBの活性化

全国レベルの健康サービス企業とSB協働パターンの構築  
ITC機器 & サービスコンテンツの標準化、認証制度の構築

Wellness, ICT、まちづくり  
& SBをキーワードとした  
総合的人材育成

地域人材育成  
首長、自治体職員  
SBとしての民間・NPOに所属する住民(退職者、主婦など)

首長が積極推進したくなる  
制度改革への挑戦

「エンパワーメント」を基本とした制度設計  
インセンティブシステム(健康ポイント・健康401k)、  
既存制度の見直しによるICT利活用促進の検討  
介護保険地域支援事業、特定保健指導など

地域での高レベル  
エビデンスづくり

社会全体に波及させることを想定したエビデンスづくり  
出口戦略を明確にした研究が重要⇒世界への発信が可能